



2022年3月期 第1四半期決算短信(IFRS)(連結)

2021年8月5日

上場会社名 日新製糖株式会社
コード番号 2117 URL <https://www.nissin-sugar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 亮
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大場 健司

TEL 03 - 3668 - 1293

四半期報告書提出予定日 2021年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	11,583	9.7	694	21.9	788	17.0	533	111.2	533	111.2	520	104.1
2021年3月期第1四半期	10,558	15.1	569	42.7	673	40.6	252	68.0	252	68.0	255	54.8

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
2022年3月期第1四半期	24.14	
2021年3月期第1四半期	11.43	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	60,102	48,332	48,332	80.4
2021年3月期	61,316	48,543	48,543	79.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2021年3月期		33.00		33.00	66.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		33.00		33.00	66.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	22,000	4.9	800	26.3	900	24.6	600	29.6	600	29.6	27.16
通期	45,000	2.8	1,800	18.4	2,100	13.6	1,400	23.6	1,400	23.6	63.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	22,673,883 株	2021年3月期	22,673,883 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期1Q	586,823 株	2021年3月期	586,823 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	22,087,060 株	2021年3月期1Q	22,078,662 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による停滞から一時持ち直しの流れがみられたものの、再び緊急事態宣言が発出されるなど、感染症収束の目処はまだまだ立っておらず、引き続き予断を許さない状況となっています。

当第1四半期連結累計期間の業績は、新しい生活様式が定着しつつあり、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら社会・経済活動を行うことが可能になってきたことを受け、売上収益11,583百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益694百万円（同21.9%増）、税引前四半期利益788百万円（同17.0%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は533百万円（同111.2%増）となりました。なお、前年同期は健康産業事業において、税効果会計における回収可能性の見直しを実施したこと等により、税負担率が増加しています。

セグメントの概況は以下のとおりです。

[砂糖その他食品事業]

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり14.71セントで始まり、主要生産国であるブラジルの干ばつ懸念による供給面での不透明感の強まりや、欧米を中心とした新型コロナワクチン接種の進展に伴う景気回復期待から商品市場全般が上伸したことを背景に、5月中旬には今期高値となる18.25セントまで値を上げました。その後は、商品市場から投機資金が流出したことから値を下げて17.63セントで当第1四半期を終了しました。

海外原糖市況（ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限））

	日付	セント/ポンド	円/kg	為替（円/ドル）
始 値	2021年4月1日	14.71	36.27	111.84
高 値	2021年5月12日	18.25	44.18	109.80
安 値	2021年4月1日	14.68	36.20	111.84
終 値	2021年6月30日	17.63	43.37	111.58

（注）1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表T T Sによっています。

一方、国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、前期末から変わらず上白糖1kg当たり192～193円で当第1四半期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、当社独自製品のきび砂糖や梅酒向け氷砂糖の出荷が好調に推移したこと等により家庭用製品は増加しました。また、インバウンドの減少や出張・観光の自粛等により、土産菓子等の需要が戻らない状況は続いているものの、新しい生活様式の定着の流れを受け、巣ごもり需要による製菓・製パン販売等に回復がみられたことにより一部業務用製品が増加しました。その結果、砂糖全体の出荷量は前年同期を上回りました。

ツキオカフィルム製薬株式会社の売上収益につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、フィルム事業においてフィルム石鹸等の需要増加等により売上収益は前年同期を上回りました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上収益は10,745百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益は海外原糖相場の高騰等を受け729百万円（同9.6%減）となりました。

〔健康産業事業〕

健康産業事業におきましては、総合フィットネスクラブ7店舗、女性専用のホットヨガ&コラーゲンスタジオ5店舗およびコンパクトジム18店舗を関東地方において運営しています。当第1四半期は、引き続き感染防止策を徹底し、新しい生活様式に沿った効率的な事業運営を行った結果、会員数は回復基調ですが、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置により一部店舗で休業や時短営業を実施した影響から、依然として厳しい状況が続いています。なお、前年同期に比べ休業要請対象店舗・期間が限定的になり、営業日数が増加したことによって売上収益は467百万円（前年同期比122.7%増）、セグメント損失は105百万円（前年同期はセグメント損失326百万円）となりました。

〔倉庫事業〕

倉庫事業におきましては、港湾運送において輸入建材の取扱量が増加したことにより売上収益は371百万円（前年同期比4.5%増）となりましたが、それに伴う作業費の増加等により、セグメント利益は70百万円（同21.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は24,613百万円となり、前連結会計年度末に比べ939百万円減少しました。これは主に営業債権及びその他の債権が281百万円増加した一方で、現金及び現金同等物が842百万円、棚卸資産が375百万円それぞれ減少したことによるものです。非流動資産は35,488百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円減少しました。これは主に有形固定資産が133百万円、使用権資産が145百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、資産合計は60,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,213百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は7,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ752百万円減少しました。これは主にその他の金融負債が106百万円、その他の流動負債が186百万円それぞれ増加した一方で、営業債務及びその他の債務が1,002百万円減少したことによるものです。非流動負債は4,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ249百万円減少しました。これは主にリース負債が186百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は11,769百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,002百万円減少しました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は48,332百万円となり、前連結会計年度末に比べ211百万円減少しました。これは主に親会社の所有者に帰属する四半期利益533百万円および配当金の支払による減少728百万円によるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は80.4%（前連結会計年度末比1.2ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、7月に4回目の緊急事態宣言が発出されるなど、引き続き予断を許さない状況にあります。

砂糖その他食品事業につきましては、精製糖事業におきまして、観光や外食向けの製品を中心に新型コロナウイルス感染症の影響が継続されることが想定され、さらに足下では海外原糖市況が上昇しており、業界環境は厳しい状況が見込まれます。このような状況のもと、当社は生活必需品である砂糖を消費者の皆様に安定供給し、社会的責任を果たすことを最優先として取り組んでまいります。

その他食品事業におきましては、子会社ツキオカフィルム製薬株式会社において、箔押事業では新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、食用純金箔事業、フィルム事業では影響は軽微であると想定しています。引き続き、新たな用途と商品の開発に努めてまいります。

健康産業事業におきましては、ワクチン接種により新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、健康・運動志向の持ち直しにより会員数の回復が期待されますが、緊急事態宣言の影響もあり、依然として厳しい状況が続いています。①F I A(日本フィットネス産業協会)水準を上回る感染防止策徹底、②I T化によるコスト削減加速、③お客様のニーズにあわせた店舗リニューアル等を進めコロナ後の新常态を見据えた店舗運営体制を新たに構築し、早期の業績回復を目指してまいります。

倉庫事業におきましては、冷蔵倉庫・港湾運送ともに在庫水準の維持、稼働率の向上に努めてまいります。

以上の結果、2021年5月14日の「2021年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,524	7,681
営業債権及びその他の債権	4,510	4,791
その他の金融資産	6,195	6,207
棚卸資産	6,062	5,686
その他の流動資産	260	245
流動資産合計	25,553	24,613
非流動資産		
有形固定資産	11,432	11,299
使用権資産	2,512	2,366
のれん	2,515	2,515
無形資産	323	317
持分法で会計処理されている投資	11,728	11,794
その他の金融資産	5,869	5,835
退職給付に係る資産	710	699
繰延税金資産	168	163
営業債権及びその他の債権	2	3
その他の非流動資産	498	492
非流動資産合計	35,763	35,488
資産合計	61,316	60,102

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,300	1,300
営業債務及びその他の債務	3,571	2,568
リース負債	967	939
その他の金融負債	31	137
未払法人所得税等	293	279
その他の流動負債	1,991	2,178
流動負債合計	8,156	7,403
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	0	0
リース負債	2,880	2,693
その他の金融負債	113	111
退職給付に係る負債	307	260
引当金	413	413
繰延税金負債	863	849
その他の非流動負債	37	37
非流動負債合計	4,615	4,365
負債合計	12,772	11,769
資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	11,603	11,607
自己株式	△296	△296
その他の資本の構成要素	1,405	1,386
利益剰余金	28,830	28,635
親会社の所有者に帰属する持分合計	48,543	48,332
資本合計	48,543	48,332
負債及び資本合計	61,316	60,102

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	10,558	11,583
売上原価	8,409	9,323
売上総利益	2,148	2,260
販売費及び一般管理費	1,575	1,577
その他の収益	2	17
その他の費用	5	6
営業利益	569	694
金融収益	41	44
金融費用	20	16
持分法による投資利益	82	65
税引前四半期利益	673	788
法人所得税費用	421	255
四半期利益	252	533
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	252	533
非支配持分	—	—
四半期利益	252	533
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	11.43	24.14

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	252	533
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△5	△28
純損益に振り替えられることのない項目合計	△5	△28
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	8	15
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	8	15
税引後その他の包括利益	2	△12
四半期包括利益	255	520
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	255	520
非支配持分	—	—
四半期包括利益	255	520

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日時点の残高	7,000	11,596	△300	5	356
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	8	△5
四半期包括利益合計	—	—	—	8	△5
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	△10	—
所有者との取引額合計	—	—	△0	△10	—
2020年6月30日時点の残高	7,000	11,596	△300	3	350

	親会社の所有者に帰属する持分				合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	
	確定給付制度の再測定	合計			
2020年4月1日時点の残高	—	361	29,382	48,039	48,039
四半期利益	—	—	252	252	252
その他の包括利益	—	2	—	2	2
四半期包括利益合計	—	2	252	255	255
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
配当金	—	—	△684	△684	△684
株式報酬取引	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	△10	—	△10	△10
所有者との取引額合計	—	△10	△684	△694	△694
2020年6月30日時点の残高	—	354	28,949	47,600	47,600

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日時点の残高	7,000	11,603	△296	3	1,401
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	15	△28
四半期包括利益合計	—	—	—	15	△28
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	3	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	△7	—
所有者との取引額合計	—	3	—	△7	—
2021年6月30日時点の残高	7,000	11,607	△296	12	1,373

	親会社の所有者に帰属する持分				合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	
	確定給付制度の再測定	合計			
2021年4月1日時点の残高	—	1,405	28,830	48,543	48,543
四半期利益	—	—	533	533	533
その他の包括利益	—	△12	—	△12	△12
四半期包括利益合計	—	△12	533	520	520
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△728	△728	△728
株式報酬取引	—	—	—	3	3
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	△7	—	△7	△7
所有者との取引額合計	—	△7	△728	△732	△732
2021年6月30日時点の残高	—	1,386	28,635	48,332	48,332

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。